

# 薬物全般

番号	題名	種類	制作	上映	内容
Z-20	「ダメ。ゼッタイ君」と「ダメ。くま君」の薬物乱用防止教室 (財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター	DVD	平成26年 7月	15分	薬物乱用がなぜ「ダメ。ゼッタイ。」なのか、一番大切な脳が破壊(はかい)されるからです。このことを「ダメ。ゼッタイ。君」と「ダメ。くま君」がわかりやすく説明していきます。また、最近猛威を奮っている危険ドラッグについても取り上げています。
Z-19	<a href="#">福岡県薬物乱用防止啓発DVD</a> <a href="#">福岡県保健医療介護部薬務課</a> (※ふくおかインターネットテレビで視聴できます。新しいウィンドウで開きます。)	DVD	平成25年	43分	解説編とドラマ編の2つのチャプターで構成しています。(1) 解説編(約18分)薬物の種類や身体に与える影響などの基本的な解説に加え、薬物に誘われたときの断り方などを分かりやすく説明しています。(2) ドラマ編(約25分)友人に誘われ、薬物に手を出してしまった少年。薬物乱用により、彼と彼の家族にどのような結果が待っているのかをドキュメンタリータッチで描いたドラマです。
Z-18	「ダメ。ゼッタイ。」薬物乱用は人をダメにする! (財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター	DVD	平成24年 8月	15分	最近若者の間に猛威を奮っている「違法ドラッグ(脱法ドラッグ)」についても取り上げています。薬物乱用はなぜ、「ダメ。ゼッタイ。」について、わかり易く理解できます。
Z-17	「ダメ。ゼッタイ。」薬物乱用は脳を破壊する! (財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター	DVD	平成23年 6月	15分	薬物乱用をすると私たちの最も大切な脳が破壊されます。破壊された脳はどんな治療をしても、決して元には戻りません。それに、一旦、乱用を始めると、自分の意思では止められない依存症になります。キャンペーンキャラクターの近野成美さんがみなさんと一緒に学びます。
Z-16	薬物乱用はなぜ「ダメ。ゼッタイ。」か? (財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター	DVD	平成22年 6月	15分	キャンペーンキャラクターの近野成美さんが案内役で、薬物乱用問題についての正しい知識を解説したものです。
Z-15	みんなで学ぼう! 薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」(改訂版) (財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター	DVD	平成21年 3月	15分	薬物乱用は脳をダメにすると同時に、未成年の喫煙、飲酒がなぜダメなのかを解説しています。同時に、薬物乱用の恐ろしさ、一度やったら止めれなくなるという依存症についても、大切な脳を守るために、薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」を学びます。
Z-14	知っておこう! 薬物乱用はダメ。ゼッタイ。 (財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター	DVD	平成19年	20分	中学生から高校生等若者向き。一般の方対象でも使用できる。薬物の種類、有毒性、依存性の説明。なぜ薬物乱用がいけないのか。誘われ方と注意する事項についてコンパクトによく説明されている。
Z-13	トラップ「罠」 警察庁	DVD ビデオ	平成18年 2月	20分	若者がドラッグにはまっている典型的なパターンをドラマ仕立てで描いた作品。20才前後から20才台向け。
Z-12	薬物乱用はダメ。ゼッタイ。 「もとう! 正しい知識とことわる勇氣」 (財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター	ビデオ	平成15年 3月	20分	薬物乱用がいかに危険で恐ろしいかをアニメ、実写を交えてわかりやすく、身体に及ぼす影響、弊害について解説し、乱用の状況等も解説されている。小中学生向き。
Z-11	薬物乱用はダメ。ゼッタイ。 緊急レポート「君の脳が狙われている!」 (財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター	ビデオ	平成14年 3月	21分	薬物乱用問題に対する正しい知識を小学生高学年から中学生、高校生、大人に啓発するためにわかりやすく作成されている。特に、乱用薬物の身体に及ぼす悪影響について、薬物乱用の状況について解説し、薬物乱用防止についての指針も取り上げられています。
Z-10	みんなでチャレンジ! 薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」 (財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター	ビデオ	平成13年 3月	21分	薬物乱用の現状、薬物乱用はなぜ恐ろしいのかについて解説。薬物乱用による脳などの身体に及ぼす悪影響、乱用薬物についての説明等アニメ、CGを使用して作成。小学生から大人まで対象。

Z-9	Drug (社)青少年育成国民会議	ビデオ	平成13年	113分	学校でいじめに苦しんでいた女子高生が、ある日渋谷の街で男子高校生と知り合った。その男子高校生はクスリに手を出してしまい、荒廃の一途をたどるばかり。必死に救おうとする女子高生の姿を描き、覚せい剤の恐ろしさに気づかされる。
Z-8	ストップ・ザ・薬物 自分を大事にしよう (財)日本学校保健会	ビデオ	平成12年 3月	28分	薬物を乱用してはいけないということを「自分を大切にす気持ちや行動の結果」として結びつけ、ストーリーのある展開でわかりやすく訴えています。覚せい剤、シンナーの他たばこ、アルコールについても薬物乱用の入口として警鐘を鳴らしています。小学生向け。
Z-7	「ダメ。ゼッタイ。」薬物乱用をノックアウト (財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター	ビデオ	平成11年 3月	20分	家族で薬物乱用防止の基礎知識を習得できるように作成されています。インターネット等情報化の中で、薬物から身を守り、家庭と学校、地域とのコミュニケーションづくりに役立ててください。小中学生向き。
Z-6	「走れ！ダメ。ゼッタイ号！」 (財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター	ビデオ	平成11年 9月	20分	CG映像を使って、「ダメ。ゼッタイ」。ラリーに参加したファミリー4人が「ダメ。ゼッタイ。博士」と「ダメ。ゼッタイ。」君のナビゲーションで、薬物乱用がなぜいけないのか。なぜ薬物乱用に走るのか。なぜ薬物乱用はなくなるのか等について知識を深めていく内容。小中学生向き。
Z-5	「ダメ。ゼッタイ。」スクール (財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター	ビデオ	平成10年 8月	20分	薬物乱用問題について、「ダメ。ゼッタイ。博士」が薬物乱用防止教室で正しい知識の普及を行う。乱用薬物、心身への影響、動物実験による薬物乱用に恐ろしさ等について、全般的な知識の習得ができるように作成されている。小中学生向き。
Z-4	薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」 (財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター	ビデオ	平成9年9 月	20分	薬物乱用問題に対する質問と解説をするQ&A形式のビデオ。わかりやすい回答と説明をしています。
Z-3	恐ろしいシンナー・覚せい剤 その依存症と精神障害 東京シネ・ビデオ(株)	ビデオ	平成6年3 月	21分	薬物乱用の恐ろしさとともに、薬物乱用問題が社会問題であること、薬物乱用に対する正しい知識を学ぶことの大切さに重点を置いた。中学生以上向き。
Z-2	ドラッグワールドレポートPART2 ゴールドトライアングルに行く (財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター	ビデオ	平成5年9 月	20分	アメリカの民間予防啓発団体PRIDEの高校生による小中学校での啓発活動の実践、世界の薬物乱用の現状地図、タイからのリハビリ等施設施設の実態、黄金の三角地帯からの報告等。
Z-1	NO！脳からの警告 文部省	ビデオ	平成2年	24分	薬物の最も恐れられている依存性について、わかりやすく解説しています。特に覚せい剤やシンナーなどの薬物は、体の司令塔ともいべき脳に作用し、身体的にも精神的にも、大きな影響を与えるということに重点を置いています。中学生向け。

## 危険ドラッグ

番号	題名	種類	制作	上映	内容
D-1	危険ドラッグは“毒”だ！ (財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター	DVD	平成26年 9月	15分	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター和田清前部長監修のもと、危険ドラッグの解説をしています。

## 覚せい剤

番号	題名	種類	制作	上映	内容
K-4	「ブレイン・クラッシャー」 (覚せい剤は君の脳を破壊する) (財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター	ビデオ	平成8年9 月	22分	覚せい剤の乱用が小学生まで拡大していますので、小学生にもわかるようにアニメとCGを使って「ダメ。ゼッタイ。博士」が解説する。小学生向き。
K-3	フラッシュバックの恐怖(アニメ) (財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター	ビデオ	平成2年2 月	20分	覚せい剤乱用者の再燃現象(フラッシュバック)の恐怖をわかりやすく解説。ドラマ形式で、医者の家族に魔法を使う少女が登場して活躍する。また最近の海外旅行ブームと薬物乱用問題についても取り上げている。小学生向き。
K-2	崩れゆく脳 脳のデストロイヤー「シンナー・覚せい 剤」 福岡県警察本部少年課	ビデオ		36分	九州大学薬学部助教授の山本経之先生の講演をビデオに収録したもの。薬物依存の脳に与える影響等について詳しく講演している。高校生以上一般向き。
K-1	覚せい剤はなぜ恐ろしいか	ビデオ		20分	覚せい剤を乱用するとどうなっていくのか。ラットの動物実験も交え、初期の乱用から常習に至るまでの過程が描かれています。

## 大麻

番号	題名	種類	制作	上映	内容
T-3	薬物乱用はダメ。ゼッタイ。大麻(マリ ファナ)編 (財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター	DVD	平成21年 6月	17分	薬物乱用の心身への悪影響、特に人にとって最も大切な脳への影響、また、マウスを使った動物実験で大麻の弊害を解説しています。
T-2	「ダメ。ゼッタイ。」マリファナの恐怖 (財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター	ビデオ	平成8年3 月	18分	CGで薬物乱用についても基礎知識と大麻乱用による心身への悪影響を動物実験、ハートイーター(心を侵すCGの怪物)の出現を織り交ぜて、正しい知識を身につけるように作成されている。小中学生向き。
T-1	大麻(マリファナ)はなぜ恐ろしいか (財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター	ビデオ	平成3年2 月	20分	大麻(マリファナ)の人体への悪影響、乱用による弊害について、専門家の先生の協力と指導を得て、動物実験を通して解説している。

## 麻薬

番号	題名	種類	制作	上映	内容
M-2	コカインの恐怖 人間の脳が直撃される (財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター	ビデオ	平成4年3 月	20分	コカイン乱用による身体への影響を主眼に、専門家による解説と動物実験、脳CT映像を取り入れてコカイン乱用の恐怖を認識してもらう。
M-1	恐るべきコカイン 東京シネ・ビデオ(株)	ビデオ	平成2年2 月	20分	コロンビアの麻薬戦争の根元であるコカインについての現状と、その薬理作用について解説。薬物乱用の実態等を交えて解説している。

# シンナー

番号	題名	種類	制作	上映	内容
S-10	「ダメ。ゼッタイ。」博士のゼミナール (財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター	ビデオ	平成7年3月	23分	CG映像を使って、シンナー乱用による身体への弊害について「ダメ。ゼッタイ。」博士が少年の体内に入って、シンナーインバーダーの悪行を説明し、乱用少年から薬害を追放するように働きかけます。
S-9	ファミリー・ネイション ”シンナー乱用者への警告” (財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター	ビデオ	平成5年3月	20分	家族とシンナー乱用少年の問題を家庭のドラマとして作成。少年の自立と家庭のコミュニケーション、克服するには…。専門家のアドバイス。薬物乱用の恐怖も収載。
S-8	シンナーの恐怖 あなたの脳が溶ける (財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター	ビデオ	平成4年10月	20分	シンナー乱用によって引き起こされる身体への悪影響をイラスト、動物実験を取り入れて科学的に解明。ヒトの脳は20才まで成長するが、シンナー等薬物乱用の結果、通常の成長が阻害されることを明らかにしている。
S-7	ダメ。ゼッタイ。 恐怖のシンナー乱用 (財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター	ビデオ	平成4年2月	20分	シンナーの及ぼす弊害を専門家の解説を交えて、科学的にとらえる。中高生向き。
S-6	ことわる勇氣 シンナーの誘惑 (財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター	ビデオ	平成4年2月	30分	中学生のシンナー問題に対する対応をドラマ化している。中学生の友情を通じて、仲間を立ち直らせる。ドラマを通じて、シンナーの弊害を解説。
S-5	シンナー・インバーダー 蝕まれる心と身体	ビデオ	平成3年2月	20分	中学生のシンナー乱用者を通じて、身体にどのような弊害をもたらしていくか克明に解説している。
S-4	森の裁判(アニメ) (財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター	ビデオ	平成3年2月	20分	シンナーを被告にして、森の動物達が裁判を行う。その中でシンナーそのものが悪いのではなく、それを乱用する人間が問題であることを証明する。裁判の中で、シンナー乱用が社会にもたらす弊害、人体及び青少年の健全な成長の妨げ等を解説している。小学生向き。
S-3	シンナーはなぜ恐ろしいか (財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター	ビデオ	平成元年3月	20分	シンナー乱用が人体にどのように悪影響を与えるかを動物実験を交えながら説明。
S-2	ウイル 断わる勇氣(アニメ) (財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター	ビデオ	平成元年3月	20分	シンナーの乱用が人体にどのように悪影響を与えるかアニメーションで説明。シンナー乱用を止めるには自分たちの意志が強くなければならないことをポイントにしている。小学生向き。
S-1	健康に生きよう (財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター	ビデオ	平成元年2月	20分	シンナーを乱用していた中学生が自動車事故に巻き込まれ死亡した。同級生がシンナーについて正しい知識を身につけようと、グループで研究発表することになった。そこで、工場・大学病院・研究室を訪ねて、シンナーの恐ろしさの説明を聞き、これをホームルームで発表する。

## 再乱用防止対策

番号	題名	種類	制作	上映	内容
R-2	薬物の乱用・依存・中毒の違いを理解する	DVD ビデオ	平成21年3月	57分	薬物相談担当者向け。 薬物の乱用・依存・中毒の違いを分かりやすく解説。国立精神・神経センター精神保健研究所の協力により福岡県薬務課作成。
R-1	薬物依存症者からの回復のメッセージ	DVD ビデオ	平成21年3月	39分	薬物相談担当者向け。 当事者としての体験に基づく、薬物依存症に関する知識や薬物の恐ろしさについての講話。九州ダルクの協力により福岡県薬務課作成。

※薬務課又は最寄りの県保健福祉(環境)事務所(保健所)を窓口として貸し出しています。

※郵送による貸出しは行っていません。